

## 住民自治協議会だより

第25号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876  
長野市大字山田中2545TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074  
E-mail otagiri-jitikyoku@ngn.janis.or.jp

## 第1回 小田切夏まつり

賑やかに 盆踊りの輪

小田切地区夏祭り実行委員会

お盆恒例の野球大会に替わる、今夏開催の「第1回小田切夏まつり」。猛暑の8月12日、天候に恵まれた午後4時、錬成センターグラウンドで花火の合図で開幕しました。

地区内外から大勢の参加があり、約200名となりました。恒例の盆踊りの輪に加え、模擬店も大賑わいで、定番の焼きそば、かき氷、フランクフルトなどが人気で、更に踊りの合間に長野翔和学園のバンド演奏も場を盛り上げてくれました。お花市や地元産野菜販売も好評で、フィナーレは花火の打ち上げで夜空を彩りました。

まつりは、長野翔和学園や錬成センターにも実行委員に加わってもらい、全員Tシャツを揃え、ポスター、チラシやうちは学生の手作り、うちは参加者全員に配りました。

小田切の盆踊りは、「若人小田切」が行っていた一時期がありました。それ以来となります。幅広い世代の皆さんに楽しんでもらえたことから、今後も夏のイベントとして継続していきたいと思えます。





# ひとり暮らし高齢者の集い・ふれ愛会食会

福祉委員会

昨年に続き「鬼無里の湯」で7月4日、対象参加者18名で開催しました。会食会に先立ち「第69回社会を明るくする運動」で保護司講話と「フレイル予防について」の保健師講話がありました。会食会で参加者代表の和田英子さんが、「誰もがみんなひとりになるが、閉じこもりがちな日々を皆さんと一緒に集えることは若さの秘訣となる。このような機会に感謝したい」とのあいさつがあり、心む交流でした。



## 令和元年度 支所発地域力向上支援金事業

応募のあった3団体に、7月26日の選考委員会で支援が決まりました。支援金総額は500千円です。

- 1 「余五將軍駒つなぎのイチイ保存会」**  
西山美佐男 代表 補助金 216千円 (要望額378千円)  
～イチイの樹勢回復治療と剪定作業～  
樹勢が弱くなっており、根本治療と樹形の剪定を行い地区観光資源として有効活用したい
- 2 「サークルみんなのいっほ」**  
松本 清子 代表 補助金 150千円 (要望額300千円)  
～地域ふれあいの椅子整備事業～  
高齢化で、地区の会合や集会で座ることが困難な人が多く、各地区(公会堂)に座椅子を配備したい
- 3 「長野翔和学園」**  
北澤 貴明 代表 補助金 134千円 (要望額262千円)  
～地域住民との交流の場づくり～  
住民や来訪者の交流の場として日方地籍の敷地を整地。後に間伐材等で東屋を建て憩いの場としたい

## 福祉委員会、保健補導員会 合同研修

福祉・健康部会

福祉・健康部会は、福祉委員会と保健補導員会で合同研修会を、7月8日行いました。まず、長野中央消防署を訪れ、署内見学と救急法の講習を受けました。



午後は、安茂里包括支援センターで社会福祉士や保健師の健康講話を聴き、福祉委員やそれぞれの立場から見守りなどの質問がありました。

## 住自協に防災部品保管庫 赤い羽根共同募金より

総務・安全防災部会

小田切地区住自協は、赤い羽根共同募金「安心・安全なまちづくり活動支援公募配分」への公募を申請し、防災部品保管庫の配分を受けました。

所有する防災関連部品などが1か所に集約することができ、交流センター体育館入り口横に置いて、指定避難所や駐車場からの搬出入も容易にできます。



## 憩いの場「温くもりの郷 笑輪」オープン

長野翔和学園

長野翔和学園では、今年度「小田切に憩いの場を作ろうプロジェクト」を進めています。そこで、小田切キャンパス内にどなたでもご利用いただける憩いの場「温もりの郷 笑輪」を7月18日オープンしました。

学生もいろいろな企画を計画しており、地元の方々に来ていただくことを楽しみにしています。

場 所：長野翔和学園小田切キャンパス内  
(旧JAながの小田切支店)  
開 放 日：月・水・木曜の12時～14時  
お問い合わせ：080-6995-2038  
(長野翔和学園 北澤)

# エルダーフラワーの里 小田切!

長野翔和学園 (元地域おこし協力隊)

安西 推 すずむ

小田切の地にエルダーフラワーを植えて4年。現在では150本を数えるまでになりました。今年6月、「希少なエルダーフラワーを使ってみたい」と藤屋御本陣(長野市)、星野リゾート(軽井沢)、東急ホテル(東京)等のフランス料理のシェフやパティシエなど計8社の担当者が視察に訪れました。

今後小田切に、エルダーフラワー関連事業を主体とした事業所の開設を検討しております。地域の皆さまにも参加いただきながら、日本のどこにもない、エルダーフラワーが咲き誇る『エルダーフラワーの里』創りをさらに前進させていきます。

9月には、小田切のエルダーフラワーを安曇野の天然水で仕上げた『信州生まれのエルダーフラワーコーディアル 小田切のめぐみ』を限定生産し、1本1,580円(150ml)で初めて販売します。



エルダーフラワー  
コーディアル

ご注文・お問い合わせ

090-5459-9207 (安西 推)

0261-62-6200 (池田町ハープセンター)

## 旧中学校校門に案内板設置



## 市の敷地内全面禁煙 7月1日~



## 深沢の滝



## 第5回小田切鉄道模型文化祭 6月29、30日



交流センター

## よ 寄って家'S



交流センター

## もう一つの寄って家'S 「お茶のみは我が家で・・・」



仏工伝

## やまびこ

長雨の梅雨明けは7月26日、昨年は6月に梅雨明けし早すぎた記録らしい。今年は、連日の雨と日照不足で肌寒い日さえあったが、その後は一転して猛暑の日々。第1回小田切夏まつりも一番の心配は天候であったが好天に恵まれた。ゆかた姿の盆おどりや夜店に、テレビ生中継も加わり大勢のみなさんに楽しんでもらえたと感じた。小田切の夏の定番として次につなげてほしい。